



週報

■11月は、『ロータリー財団月間』

第1499回例会 2017年11月2日 Vol.32/No.17

■本日の例会／第1500回 平成29年11月9日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長ひととき
- 宮日美展報告・一木尚敏 様
- 1500 記念例会・秦喜八郎 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数……………54名
- ・出席者……………46名
- ・欠席者……………8名
- ・出席率……………86.79%
- ・10/19の修正出席率・67.31%

■会長挨拶

田中 寿 会長



今月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団とは？と聞かれるとなかなか答えられない会員の方のほうが多いのではないのでしょうか？

かくいう私も会長を仰せつかりながらも、的確には答えられないのが実情です。資料を見ても非常に複雑で良く解りません。詳細等に関しては財団委員長から折を見てお話を頂きたいと思うところです。会員の皆さんには、年間150US\$を目標に財団への寄付をいただいておりますが、そのほかにも大口での寄付や法人での寄付などを主として財源にしております。地区補助金・グローバル補助金・マッチンググラントなどの補助金制度を運用しておりそれぞれのクラブが奉仕活動や事業をする際の資金補助をしております。当クラブでも数年前には、ひむかかるとの拡大サイズのものを作成し、高齢者施設などで活用していただいたりしております。今年も環境問題に寄与すべく宮崎県緑化推進協議会と協力して植樹することを検討しております。そのほかにも財団の特別プロジェクトとして、ポリオプラス(ポリオ撲滅活動)を世界保健機構WHOと協力して1985年から開発途上国などを中心にワクチン接種などを展開しております。ポリオとは何かご存知ですか？その昔は日本でも多く発生していた感染症で、小児麻痺と言えば良く解るのではないのでしょうか？当時、私たちが小学生くらいの頃には、割と身近に小児麻痺で障害を負った友人がいたような気がします。

半身麻痺や不随、場合によっては死に至る病です。1960年には日本でも流行し年間6000人程度の発症がみられていましたが、現在では撲滅しています。

世界的にも2017年を見てもみますと3か国11症例の発症にとどまっており、撲滅まであと一息というところまで来ております。長い時間と数千億円をかけたプロジェクトであります。一昨年でしたかビル・ゲイツ財団が加わったニュースは大きく報道されましたが、ロータリークラブが早い時期から協賛していることは世界に周知されていないような気がします。これだけの大きな奉仕プロジェクトに各会員が年間150US\$を供出し参加していることは誇りに思ってもいいのではないのでしょうか？と共にロータリーの広報が効果的になされていないのは非常に残念でもあります。

■幹事報告

生駒俊明 幹事



・11月のロータリーレートは一ドル 114円になっております。

・バージニアビーチ市と宮崎市姉妹都市締結25周年を記念して、青少年国際交流コンサートが11月3日(金)に行われます。チケットがありますので、行かれる方は事務局までお問い合わせをお願いいたします。

■ バナー交換



■ 米山奨学金授与式



ハナ・アカリ・アリフィン 様

■ 喜寿お祝い



鳥山 浩 会員

■ 傘寿お祝い



田島直也 会員

■ ガバナーアドレス 押川弘巳 ガバナー



皆様こんにちは。

昨年の規定審議会の改訂が様変わりするような状況で、アメリカの理事の方々も何か潮目が変わったなというような感じで受け止めているようでございますが、この規定審議会がなぜ大幅に変わってしまったかと申しますと、やはりライオンズの人数の拡大です。ライオンズは世界で140万人くらいの会員がいらっしやいます。それに比べてロータリーは120万人台に減ってきています。それをいかに食い止めるかという所から起きた改訂だと思われま。世界的に見ますと、ロータリー会員の減少率は日本が一番多いです。そしてその次がイギリスやアメリカです。それに比べて韓国、台湾、インドはものすごい増え方をし

ております。先週、第3ゾーンの会議がありましたが、その中でRI理事の方が言うには、会員増強は今までのやり方ではいけない、根本的にやり方を変えないといけないというような事を言っておられました。やはり何とかして入会しやすい、そしてクラブ運営も柔軟性のある運営が求められています。これは会長へご説明申し上げておりますので、会長よりお伝えしていただければと思います。

日本の現状を見ますが、まず世界は6つのエリアに分かれておりまして、この6つのエリアを34ゾーンに分けます。その34ゾーンを539の地区に分けています。日本はその34ゾーンの中の3ゾーンを持っていますが、人数が減少している関係で2.5ゾーンに減らされております。そして今期から2名いた理事も1名に減らされ、他の韓国や台湾の方々が理事に入っていくという状況でございます。日本のロータリー会員は現在8万9千人くらいです。全国のクラブ数は2273クラブで進んでおります。34の地区がありますが、東京のように東京と沖縄で一つの地区という所もあります。また、東京のもう一つの地区は東京と南洋諸島(北マリアナ諸島、グアム、ミクロネシア、パラオ)で一つの地区になっています。やっかいな事に、日本の人数が少なくなって2.5ゾーンに減らされたものですから、第1ゾーンから埼玉、千葉、茨城、群馬の4県が第2ゾーンへ移動させられました。そして第2ゾーンの岐阜、三重が第3ゾーンに入ります。この4つも減少された第1ゾーンはどうなるのかと言いますと、インドネシア、パキスタン、バングラディッシュが入ってきました。これは今月3月のRI理事会で決まりまして、2019年の規定審議会によって決定されるという事になります。ですから、何とかそれまでの間に人数が増えなければ日本だけで3ゾーンをやれると思いますが、なかなか一気に増える状況にはありません。しかし今回の規定審議会の改訂は会員数を増やせるきっかけになるかもしれません。これはまたクラブで討議していただきたいと思ひます。今のロータリーのメンバーは40才未満が5%くらい

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明

しかない状況です。大半は60才以上です。このまま10年、20年経ちますと、一体クラブが存続できるのかということになります。そこでやはり戦略計画推進セミナーなどの場で自分のクラブは何年後にはどれくらいの会員数にしようというような目標を立てて会長がクラブを引っ張っていかないといけませんし、今後のガバナーはそういう事を念頭に置いてやっていく必要があるという事を強く感じるしだいです。

今回のイアンH・Sライズリー会長は「変化をもたらす」をテーマにされましたけども、これはやはり今までのやり方では駄目ですよ、今後は変革をもたらすようなクラブの運営を考えていかないといけないですよというメッセージだと思います。また、RI会長はロータリーの金看板の職業奉仕について、職業奉仕を理解し、職業奉仕を一つの信念としてロータリーの中で活動していくと、結果はこうでしたというような成功談を聞きたいとも言われていました。ですから、今回の「変化をもたらす」は「入りて学び、出でて奉仕せよ」という面で、ロータリアンが「このクラブは何なんだ」と言われた時に、「奉仕の心を磨くところなんですよ」と言えるようにする。ではその心を磨くという事は人間としてあるべき心、すなわち倫理です。今までの倫理運動に加えて倫理実践運動をやってくださいということです。倫理だけを言っていたのでは会員も増えていきませんし広がりません。対外的に分かっていただく為には行動を起こさないと駄目なのです。ロータリークラブは社交クラブとして、ロータリアンの心を育て、世の中に倫理を提唱していくべき使命を持った団体だという事です。人からの問いに「私たちは行動を持って答えますから、我々の行動に注目してください。奉仕を通じて世間の変化をもたらします。」ということが言えるようなロータリアンになってほしいと思います。

私は今期のスローガンの中で「純増1」と申し上げています。なかなか成し遂げるのは難しいと思いますが、何とか各クラブで達成していただ

ければと思っております。ライズリー会長はこの年度において若い会員、女性会員を増やしてくださいと言っておられました。ここがポイントになるかと思えます。

出席委員会報告 黒木陽子 副委員長

◆10/19メイクアップ者名 (敬称略)

井上真由美、甲斐孝則、黒木雄一、新地康宏、秦喜八郎、三輪修珍、湯浅敏幸、志戸本和孝

◆ビジター



押川弘巳 ガバナー
片地昭次 会員
久寿林和夫 ガバナー補佐

長濱保廣 様(宮崎RC)

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明